

自宅で手軽にろくろ体験

ろくろ倶楽部

土3倍3色限定セット



取扱説明書

この度はタカトミー「ろくろ倶楽部 土3倍3色限定セット」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後は、必ず保管しておいてください。一般的に本格的な陶芸を楽しむには、高価な道具とさまざまな器具が必要だったために陶芸をやってみたくも思っても気軽に楽しむことができませんでした。

「ろくろ倶楽部 土3倍3色限定セット」は、ご家庭にあるオープンレンジで焼成が可能な特殊な土を使用することで、ご家庭で擬似的に陶芸体験をお楽しみいただける、電動ろくろと基本的な道具が1つになった入門セットです。

【うわぐずりは食品衛生法に適合しています】

単1型アルカリ乾電池4本使用(別売)
REQUIRES 4 LR20/1D SIZE BATTERIES (NOT INCLUDED)

※写真やイラストなどと、製品が異なる場合がございますが、ご了承ください。

TAKARA
TOMY®

対象年齢15才以上

Rokuro Club

注意 (ちゅうい)

保護者の方へ 必ずお読みください。



電気が危険



必ずお読み



必ずお読み

- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息などの危険があります。
- ろくろ倶楽部専用土およびろくろ倶楽部専用うわぐすりは食べ物ではありません。口の中には絶対に入れないでください。
- 火傷の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- アイロン糸を首にかけてぶざげたり、乱暴に扱わないでください。窒息などの危険があります。
- ナイロン糸による事故の危険がありますので、1.5才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- アイロン糸は、指などに巻き付けたりしないでください。血がよわなくなる危険です。
- 回転部に指や髪、毛や衣服などは巻き込まれないようご注意ください。
- 必ず温度・時間調節のできるオープンレンジを使用してください。
- ご使用になるオープンレンジの取扱説明書をよく読んでください。
- オープンレンジを使用する際は、まわりに熱えやすいものを置かないでください。
- オープンレンジを使用する際には、換気をしっかり行ってください。
- オープンレンジには作品のみ入れてください。
- 作製の焼成中は目を離さないようにしてください。
- 作品を指定時間より長く焼成をしないでください。(最高設定時間40分)
- 作品を指定温度より高い温度で焼成をしないでください。(最高設定温度140度)
- 使用中のオープンレンジは高温となりますので注意してください。
- 焼成直後の作品は高温となりますので触れないでください。必ず作品が冷めてから取り出してください。
- オープンレンジ使用の際、作品の出し入れはオープンレンジに付属している専用器具、もしくはミトンなどを着用してください。
- うわぐすりを塗布したあとの作品は再びオープンレンジに入れて焼成しないでください。
- 完成した作品は食べ物ではありません。口の中に絶対に入れないでください。
- 完成した作品は大変硬くなりますので、ぶついたり、ふりまわすなど乱暴な扱いはしないでください。
- 作業をするときはろくろ倶楽部専用土のついた手を顔に近づけない様にしてください。ろくろ倶楽部専用土が目に入る危険があります。
- ろくろ倶楽部専用うわぐすりはなめないでください。
- 電池を誤使用すると発熱・破裂・液漏れの恐れがあります。下記に注意してください。
 - ・充電式(ニカドなど)電池は、絶対に使用しないでください。
 - ・古い電池と新しい電池、いろいろな種類の電池を混ぜて使わないでください。
 - ・+ (プラス)と- (マイナス) を正しくセットしてください。
 - ・遊んだ後は必ずスイッチを切り電池をはずしてください。電池ボックス内に水滴が入っている場合は、きれいに拭き取ってください。
 - ・ショートさせたり充電、分解、加熱、火の中に入れてたりしないでください。
 - ・万一、電池からもれた液が目に入ったときはすぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。ひふや服に付いたときは水で洗ってください。
- プラスチック袋を顔から被ったり、顔を覆ったりしないでください。窒息する恐れがあります。
- 思わぬ事故の恐れがありますので、ご使用後は15才未満のお子様の手の届かないところに保管してください。
- ぶついたり、ふりまわすなど、乱暴な扱いはしないでください。
- 万一、ろくろ倶楽部専用土やろくろ倶楽部専用うわぐすりが目に入ったときは、すぐに大量の水で洗い、医師に相談してください。
- ろくろ倶楽部専用うわぐすり、密封用のろくろ倶楽部専用土は、15才未満のお子様の手の届かない所に保管してください。
- カビや雑菌などが発生する恐れがありますので、開封後のろくろ倶楽部専用土はすぐに使い切ってください。
- 回転台が回転しているときには、顔を近づけないでください。思わぬケガの恐れがあります。
- 完成した作品を置くと落とすなどした場合、割れる恐れがあります。割れ目が鋭利になると怪我をする恐れがありますので、取り扱いには十分に注意してください。
- ろくろ倶楽部本体から異音を発している場合は、ただちに使用を中止してください。
- 作品はうわぐすりの塗り厚しがあると、音程としては使えません。また、灰皿として使用しないでください。
- 感のうわぐすりと重ね置きはしないでください。

<お願い>

- ご使用前に、取扱説明書をよくお読みください。また、読み終わった後は必ず保管しておいてください。
- プラスチック袋は糊口材ですので開封後はすぐに捨ててください。
- 直射日光の当たる所、電線器具の近くなど温度の高すぎる所、湿りすぎる所や湿度の多い所には置かないでください。
- ろくろ倶楽部本体は非防水のため、洗うことができません。お手入れの際は、水分を取り除き、固く絞った布で拭き掃除をしてください。
- 土の固まりを排水口に溜さないでください。パイプ詰りの原因となります。
- 完成した作品は、専用のうわぐすりを染らすに水につけると変形、破損の恐れがあります。水につけないでください。
- うわぐすりを使用する際は、ろくろ倶楽部専用うわぐすりを使用してください。市販のうわぐすりなどは使用しないでください。
- ろくろ倶楽部専用うわぐすりを使用後の筆は、すぐに水洗いをしてください。
- ろくろ倶楽部専用うわぐすりを使用後はフタをしっかりとめてください。
- ろくろ倶楽部本体を移動する際は、必ず本体底面をしっかりとってください。
- 土の中に異物(ガラス・プラスチック等)を埋め込まないでください。オープンで焼成したときに思わぬ事故の恐れがあります。

セット内容



各部名称と組み立て方

本体

アーム

支柱の上からはめ込みます。

ガイド

支柱の上からはさみます。

支柱

本体の穴に差し込みます。

回転台

電源が「OFF」のとき、回転台は手で回すことができます。

脱着の際には、回転台の側面にある白いボタンを押しながら行ってください。

電源スイッチ

右に倒すとスイッチオフ
左に倒すとスイッチオンになります。

※ろくろ倶楽部を持ち歩く際は、必ず本体底面を持ってください。

使用後は必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。回転台が回っている最中に、強い力を加えると回転台が止まる場合があります。その際は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。継続させる場合は、約10秒待ってから電源スイッチを入れ直してください。（「ろくろ倶楽部Q&A」をご参照ください。）

アーム

「アーム」のクリップの凸部を「削り出し棒」の凹部にはめ込むようにセットします。

凸部 クリップ
凹部



※「弓」も同様です。

電池の入れ方

※電池の出し入れは、必ず乾いた手で行ってください。

1. メインスイッチが「OFF」になっていることを確認し、電池ボックスのネジを2箇所ゆるめ、電池カバーをはずします。

底面



2. 単1型アルカリ乾電池4本を図のように＋を確認し、正しくセットしてください。

※電池は必ずすべて新しいものをご使用ください。



3. 電池カバーを戻してネジを2箇所しめてください。

準備をしましょう

ご用意いただくもの (汚れてもいいものを選びましょう)



敷物 (大きめのもの)

作業スペース周辺の汚れ防止のために必ず敷物を使いましょう。大きめのビニールシートなどがよいでしょう。



口の広い器 (洗面器など)

作業の際に使う水を入れます。手を入れやすいように。洗面器などの口の広いものがよいでしょう。



作品をのせる台

作品の余分な水分を吸収するので木の板が望ましいですが、なければお盆などの平らで持ち運びのできるものを選びます。※ご家庭にダンボールがある場合、適当な大きさにカットし、お盆と作品の間に敷けばダンボールが木の板の代わりになります。

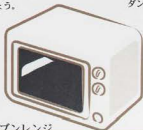


オープン用ペーパー又はアルミホイル
焼成の際に、オープン皿に敷きます。



タオル (2~3枚)

手を拭いたりするときに使います。水に溶けた土がたくさんつきますので、汚れてもいいものを選びましょう。



オーブンレンジ

必ず温度調節機能のあるオーブンレンジを使用してください。電子レンジやオーブントースターは使用できません。メニュー機能やスチーム機能などは使用せず、必ず手動で設定をしてください。



筆

ろくろ倶楽部専用うぐすり
を塗るときに使用します。



細い棒 (鉛筆など)

作品に印をつけるときなどに使用します。

身支度について

汚れてもいい格好で作業しましょう。

ろくろ倶楽部は、水を使いながら土を成形し、作品を仕上げしていきます。水に溶けた土が洋服などについてしまうことがありますので、汚れてもいい服装で作業をしましょう。万一服についてしまった場合、直ちに洗い流してください。そのまま放置すると、汚れが落ちなくなることがあります。



髪
髪は長い人はまとめておきましょう。

洋服

腕が汚れやすいので袖の短い服や、前まくりのできる服がいいでしょう。エプロンを着用してもよいでしょう。

※ろくろ本体の回転部分に服や髪の毛が巻き込まれないように十分注意してください。

作業スペースについて

ろくろ倶楽部はコンパクトなので、さまざまな場所で作業ができます。机の上でももちろん、地べたに座って作業することもできます。ご自分の作業しやすい格好で楽しみましょう。

※平らなところで作業しましょう。

水を使用しますので、作業スペース周辺が汚れないように、必ず平らなところにビニールシートなどを敷いて、その上で作業をしましょう。

水の入った容器はろくろ本体の近くにおくおくとよいでしょう。※こぼさないように十分注意してください。

できあがった作品をのせる台も、あらかじめ用意しておきます。



タオルは乾いたものと濡らせたものを用意しておくといよいでしょう。

道具はすぐ使えるように、手の届くところに並べておきます。

はじめに

この取扱説明書をよく読み、大体の流れを頭の中に入れてから作業をするとスムーズに行えます。始める前に作りたい作品の形を考えておく事も大切ですが、思った通りの形に仕上げることはとても難しいことです。

多少ゆがんでしまったり、違う形になってしまったとしても、それも作品の味となります。土は焼いてしまわなければ練りなおして作り直すこともできます。

失敗を恐れずに、自分のスタイルでお楽しみください。

作業全体の流れ

ろくろ挽きの準備

土を練る

回転台の中心に置く

ろくろ挽き

形を作る

口の処理をする

回転台から切り離す

焼成前の準備

乾燥一回目

削り

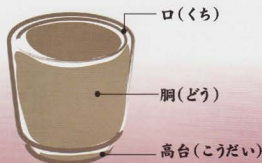
乾燥二回目

焼成

応用

うわぐすりを塗る

器の部位名称



ドベの作り方

作業中に出た土のカスに、少しずつ水を加えながらクリーム状になるまで混ぜ合わせます。



作業中、手に付いた水に溶けた土もドベとして利用できます。



ろくろ倶楽部用語集

ろくろ挽き	ろくろを回して、作品を作り上げること。
焼成	作品をオーブンレンジで焼くこと。
ドベ	水で溶いたクリーム状の土のこと。おちにひび割れの修正や装飾物の接着に使う。
支柱・アーム	成形の作業を助けるための道具。
ガイド	支柱に取り付けた道具の位置がずれないようにするための道具。
弓	作品の口を整えるための道具。
しっぴき	土を小分けにしたり、作品を回転台から切り離すために使う道具。

作り方～基本編～

ここでは、写真のような基本的な形の器の例をあげて説明していきます。
まずは練習を重ね、「ろくろ倶楽部」の基本を覚えましょう。

厚さ:約10mm



※同梱の土でこの位の
大ききの器が9個
お作りいただけます。

ろくろ挽きの準備

～土を練る～

土を扱いやすくするために、ろくろ挽きに入る前によく練りこみます。
このとき空気が入ったり均一に練られていないと、変形やヒビ割れの原因となります。



1 付属の「しっぴき」を使って土を3等分にします。



2 ひとかたまりずつ、もみこむように練っていきます。このとき、空気が中に入らないように注意しましょう。



3 まんべんなく練れたら、粘土を手のひらの中で軽くたくようにながら写真のように山型に整えます。

POINT

- ・土を練るときは、あらかじめ用意しておいた作品を乗せる台の上で作業するとよいでしょう。
- ・土が固く、表面にヒビが入るときは、少しずつ水を加えて耳たぶくらいの柔らかさにしましょう。
- ・空気が入ると、ヒビ割れの原因となります。うまく練れない場合は、台にたたきつけるようにしてもよいでしょう。
- ・使わない分の土は、もとのビニール袋に戻して乾かないようにしましょう。

～土の固まりを回転台の“中心”に置く～

綺麗な形を出すためには、土の中心をしっかり保つことが大切です。
中心がずれていると、ろくろ挽きをする際に土がブレてうまく形を作ることができません。



1 乾いた回転台の“中心”に土をのせ、押し付けるようにして土を回転台に“密着”させます。



2 電源を入れてろくろを回転させ、手にたっぷり和水をつけ、土に水をなじませます。

3



手を“く”の字にし、土を包み込むように添え、土の固まりを円柱状にします。

POINT



ワキをしっかり和締め、腕を固定します。

うまく円柱が作れない場合は…

アームと削り出し棒を使って、土のかたまりを円柱形に削り出します。

1



本体に「支柱」「削り出し棒を取り付けたアーム」を取り付けます。

2



電源を入れてろくろを回転させ、少しずつ削っていきます。

3



天面は手のひらで平らに、表面は滑らかに整え、円柱状にします。

POINT

削ってでた土のかすは、再び使用することができますので、捨てずにとっておきましょう。

ろくろ挽き

～形を作る～

準備ができたらいよいよ「ろくろ挽き」の作業に取りかかります。すべりを良くするため、手と土は常にぬれている状態で作業しましょう。

1



断面図

電源を入れてろくろを回転させ、片手あるいは両手の親指を使って中心に穴を開けます。深すぎると底に穴が開いてしまうので、気をつけましょう。

2



断面図

穴ができたなら、そのまま親指を外側に広げていきます。

POINT

底になる面はなるべく平らになるようにしましょう。

3



断面図

両手の指で土をはさみながら、下から上へ少しずつ伸ばしていきます。

4

好みの形になるまで3をくり返します。

POINT

- 一度に伸ばそうとすると、土がちぎれてしまいます。少しずつ伸ばしていきましょう。
- 左右の手は同じ力・速さで動かしましょう。力の入れ方が変わると、作品の厚みにムラができ、ひび割れ等の原因となります。

～口の処理をする～

がたがたになった口をなめらかに整えます。

1



一度ろくろを止め、本体に「支柱」と「弓をつけたアーム」を取り付けます。

2



電源を入れてろくろを回転させ「アーム」に手を添えます。徐々に「アーム」を下ろしながら口のでこぼこを切り落とします。1回転したところで「アーム」ごと上を持ち上げます。

3



余分な土を取り除き、たっぷりと水をつけた人差し指と親指の腹を使い、切り口を滑らかに整えます。

～回転台から切り離す～

「しっぴき」を使って作品を回転台から切り離します。戸惑いながら作業をすると失敗の原因となりますので、ある程度勢いをつけて行いましょう。

1



一度ろくろを止め、支柱の1番下の位置に「ガイド」を付け、「しっぴき」の片方のリングを取り付けます。

2



もう片方のリングに指をかけ、「しっぴき」の糸が回転台と平行になるようにピンと張った状態で手前に引き、作品をろくろから切り離します。

3



親指、人差し指、中指を使ってゆっくりと持ち上げて、あらかじめ用意してあった作品をのせる台に乗せて乾燥させます。

注意! 「しっぴき」が回転台に絡まないように注意しましょう。

焼成前の準備

～乾燥1回目～

削りに入るために半湯きの状態にします。

1 直射日光の当たらない風通しの良い場所に置き、半乾きの状態にします。

2 表面のべたつきがなくなり、手にとっても形が崩れなくなるまで乾いたら“削り”にはいります。



POINT

・乾燥の具合は季節や気候によって異なりますので、こまめにチェックをしてください。
・乾燥が足りない場合、軽く触れた程度で作品の形がゆがみます。

～削り～

胴となる部分を削り、作品の形を整えます。



「削り出し棒」や「ヘラ」を使い、作品の“外側”の胴となる部分を削っていきます。厚みが均一になるようにこまめに確認をしましょう。

POINT

・内側からの力に弱いので、必ず外側を削ってください。
・削りかすは水を加えて練れば、再利用できます。



削り跡を残してもいいですが、作品の表面を滑らかにしたい場合、指先に少量の水をつけ、指でならします。

～乾燥2回目～

2回目の乾燥で、作品の中の水分を完全にとばします。

オーブンレンジで乾燥させる場合

オーブンレンジを使用する際には下記のことにご注意ください。

- ※必ず、温度・時間設定のできるオーブンレンジを使用してください。
- ※オーブントースター、電子レンジは使用できません。
- ※必ず保護者の方が行ってください。
- ※使用中、オーブンレンジと作品は高温となります。触れたりすると危険ですので、ご注意ください。
- ※オーブンレンジ使用中は必ず、換気を行ってください。
- ※スチーム機能や、メニュー機能などは使用せず、必ず手動で設定してください。
- ※オーブンレンジの使用方法についてはオーブンレンジの取扱説明書をお読みになってください。
- ※オーブンレンジの種類によって、仕上がりが異なる場合があります。
- ※焼成中、においが出る場合がありますが、異常ではありません。
- ※使用中はオーブンレンジから目を離さないでください。
- ※土の中に異物(ガラス・プラスチック等)を埋め込まないでください。オーブンで焼成したときに思わぬ事故の恐れがあります。

1



ご家庭のオーブンレンジに付属しているオープン皿に作品を乗せます。

2



オーブンレンジに入れ、(高さ調節がある場合、下段にいらしてください)温度を120度に設定し20分～30分焼成します。

3



そのまま作品が冷めるまで1～2時間放置します。

POINT

オープン用ペーパーなどを敷いてもよいでしょう。作品同士がくっつかないようにスペースを開けてならべます。

POINT

作品の大きさ、厚み、環境によって、時間は異なります。

注意!

周りの人が誤って触らぬよう、放置中も十分気を付けてください。

自然乾燥させる(時間に余裕のある場合)

直射日光の当たらない風通しのいい場所で乾燥させます。乾燥が十分でないと、焼成の際に割れたり、ヒビが入る原因となります。通常、晴れの日で3日位で乾燥しますが、天候、気温によって変化しますのでこまめに確認しましょう。乾燥の目安は、作品全体の重さが軽くなり、色が全体的に白っぽくなります。厚いものは、表面が乾燥していても中に水分が残っている可能性がありますので、さらに1～2日間乾燥させてください。



焼成

いよいよ本焼きにはいります。

オーブンレンジに関する注意事項は、P.8【オーブンレンジで乾燥させる場合】を参照してください。

1



ご家庭のオーブンレンジに付属しているオープン皿に作品を乗せます。

2



オープンに入れ、(高さ調節がある場合、下段にいらしてください)温度を130度に設定し、30分～40分焼きます。

POINT

焼成時間を変えることで作品の色合いを変えることができます。



30分焼いた時の例 (色が薄い) 40分焼いた時の例 (色が濃い)

- ・作品の大きさや厚さによって、仕上がりが異なります。
- ・規定の時間以上焼かないでください。焼きすぎると土がもろくなる可能性があります。

POINT

オープン用ペーパーなどを敷いてもよいでしょう。作品同士がくっつかないようにスペースを開けてならべます。

POINT

作品の大きさ、厚み、環境によって、時間は異なります。

3

焼きあがったら、そのままオーブンレンジの中で1～2時間冷まします。焼き上がりの作品は、高温となっております。やけどの恐れがありますので、必ず冷ましてから取り出してください。完全に冷めたら完成です。

作り方～応用編～

成形の応用

～器の口を広げる～



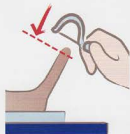
1 P.6～P.7【基本編～形を作る～】の3まで進んだら、今度は少しずつ外側へ力を加えていきます。一度に広げようとせず、少しずつ広げていきましょう。



2 好みの大きさまで広がったら口を「弓」で整えます。利き手で「弓」を持ち、脇を閉めてしっかりと固定し、器の口と垂直になるように「弓」を入れ、1回転したところで引き上げます。

POINT

「弓」は器の口に対して垂直に入れるため、口が広がった器、すばまった器の場合は支柱は使わず、手に持って行きます。



3 指の腹で切り口を整えます。(P.7【基本編～口の処理をする～】の3参照)



～器の口をすばめる～



1 P.6～P.7【基本編～形を作る～】の3まで進んだら、手の平で優しく包み込むように徐々に内側にすばめていきます。

POINT



一度に力を加えると、器の口が波打ったり崩れてしまいます。



2 【成形の応用～口を広げる～】と同様に、口を「弓」で整えます。

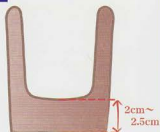
3 指の腹で切り口を整えます。(P.7【基本編～口の処理をする～】の3参照)

削りの応用

～高台を作る～



1



【基本編】を参考に器を作ります。このとき、器の底に2cm～2.5cmの厚みを持たせてください。

2



【基本編～乾燥1回目～】までの作業をします。回転台の中心に作品をさかさまに置き、高台を削りだす準備をします。本体に「支柱」と「細い棒(鉛筆など)をはさんだアーム」を取り付けます。

POINT

- ・ある程度平らに仕上がっている場合は、「ヘラ」などを使ってキレイにならすだけで大丈夫です。
- ・土が余っている場合、作品と回転台を少量の土で固定すると、作品がずれにくくなります。

3



器の底を平らに整えるため、2で取り付けた細い棒を使い、削り取る部分にアタリを付けます。片方の手は「アーム」に添え、もう片方の手で回転台を回すとスムーズです。

4



アタリを目安に余分な部分を削り、平らにしていきます。

5



底が平らになったら高台を作ります。

6



平らになった面に、「細い棒(鉛筆など)」を使用して高台となる部分のアタリをつけ、外側と内側を削っていきます。



7



高台ができたら指先に少量の水をつけ、ならします。

装飾品をつける

上と上の接着には土を水で溶いた「ドベ」を使用します。
あらかじめ準備しておきましょう。
(ドベの作り方 P.4参照)



装飾物例: 把っ手



1



土のかたまりから、装飾物となるものの分量を「しっぴぎ」で切り取ります。切り取った土は乾燥しないようにビニール袋に戻しておいてください。

2



P.5【基本編・ろくろ挽きの準備】からP.8【基本編・焼成前の準備～削り～】までの作業をします。

3



1であらかじめとっておいた土で好きな形の装飾物を作ります。

4



装飾物と器、両方の接着面に「ヘラ」で傷をつけます。

5



それぞれの接着面にあらかじめ準備しておいた「ドベ」を塗り、装飾物と器を押し付けるように接着します。

6



接着面を指や「ヘラ」でなじませます。

防水加工をする

ろくろ倶楽部専用うわぐすりを塗ると、作品に水を入れて使用することができます。
作品が焼きあがり、完全に冷めてから作業しましょう。



POINT

ろくろ倶楽部専用うわぐすりを塗るとツヤがでます。

1



あらかじめ用意しておいた筆で、「専用うわぐすり」を塗ります。はじめに器の内側全体と口の周辺に塗布します。

2



10～20分、直射日光の当たらない、風通しの良い場所で乾かします。

3



完全に乾いたら、塗り残した部分に塗り乾かします。一度に全面を塗ってしまうと、液ダレをおこし、そこから「専用うわぐすり」がはがれてしまう可能性がありますので必ず2段階に分けて塗ってください。

4

1～3を2、3回くり返し、塗り残しのないように重ね塗りをして、完全に乾かします。

POINT

塗り残しがあると、そこから水分が入り込んで作品が壊れてしまうことがあります。水を使用する用途のある作品は特に、塗り残しのないよう重ね塗りをしてください。

注意

- 環境によって、「専用うわぐすり」の乾燥時間が異なる場合があります。
- 作品を洗う際には、やわらかいスポンジで洗ってください。強い力を加えながら洗うと、「専用うわぐすり」がはがれてしまう恐れがあります。
- もしはがれてしまった際にはすぐに水分を乾かし、もう一度「専用うわぐすり」を塗りなおしてください。
- 使用後はきちんとフタをしめ、筆はすぐに水洗いをして乾かしてください。
- 他のうわぐすりとの重ね塗りはしないでください。

後片付け

土は乾くと硬くなり、とれにくくなります。使用後は速やかに道具の手入れをしましょう。

※ろくろ倶楽部本体は非防水です。絶対に水にさらさないでください。

※土の固まりを排水口に流さないでください。パイプ詰りの原因となります。

1

本体から回転台をはずし、それぞれに付いた土の固まりを紙などで拭き取ります。

2

湿らせたタオルを固く絞って、本体に残った汚れを拭き取ってください。

3

小道具に付いた土も落としします。

4

乾いた手で電池を取り出し、直射日光の当たらない風通しのよい場所で乾かします。

5

完全に乾いてから保管してください。

POINT

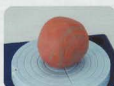
電源スイッチ部分は特に念入りに拭いてください。土が固まって動かなくなることがあります。

回転台の白い着脱ボタンパーツが、はずれてしまった時は、以下のようにして取り付けていただきますようお願いいたします。

<p>1</p> <p>白い着脱ボタンパーツの裏面を確認し、柄に溝がある方を上にして、柄の部分を回転台の側面にある穴に内側から差し込みます。</p> <p>回転台裏面</p> <p>白い着脱ボタンパーツ</p> <p>柄を側面の穴に差し込む</p>	<p>2</p> <p>次に回転台中心の溝の穴に、白い着脱パーツのツメがしっかりとハマるように指で押し込みます。</p> <p>指で押し込む</p> <p>ツメ</p>	<p>3</p> <p>最後に白い着脱ボタンパーツのリング状の部分を回転台の突起の中に取めます。以上で取り付けは完了です。</p> <p>回転台の突起の中に取る</p> <p>突起</p>
---	---	---

作品例

- 2色の専用土を混ぜて、世界にひとつ「マーブル模様」の作品を。



2色の土を半分ずつ 同じ方向に練ると写真の
写真のように重ね ように土の側面が渦模様
同じ方向に練ります。 になってきます。

練った土をひとまとまり
にしてろくろ倶楽部に
のせ、作品をつくります。

作品が手に持てるくらいの
半乾きの状態で、表面を削る
ときれいに模様がでできます。

- 3色の専用土を積み重ね、個性的な「ボーダー模様」の作品を。



ひも状にした土を積み
重ね、内側の隙間を指で
うめていきます。

スポンジなどで表面の
繋ぎ目を整えます。

作品が手に持てるくらいの
半乾きの状態で、表面を削る
ときれいに模様がでできます。

- ドベを使って「内外表情」のある作品を。



黒土で作品を作ります。

作品が手に持てるくらいの
半乾きの状態で、水で溶いた
赤土のドベを作品に塗ります。

専用土1色で作品を作っても
様々な形を楽しめます。



ろくろ倶楽部の周辺商品は下記でもお買い求めいただけます。

Toy Hobby	<p>パソコンから http://www.toyhobby.jp/main</p> <p>購入箇所 メイン画面で、キーワードでろくろ倶楽部と入力して検索すると商品購入画面になります。</p> <p>支払い方法 ◆代金引換 (佐川急便・現金のみ) ◆クレジットカード (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Club) ◆コンビニ前払い (ローソン、ファミリーマート、ミニストップ、セイコーマート、デイリーヤマザキ・ヤマザキデイリーストア、サークルKサンクス)</p> <p>手数料 送料・代金引換手数料はWEBサイトでご確認ください。</p>
coppepan	<p>パソコンから http://www.coppepan.jp/</p> <p>購入箇所 商品検索画面で、「ろくろ倶楽部」を検索すると商品購入画面になります。</p> <p>支払い方法 ◆代金引換</p> <p>◆クレジットカード (VISA, MasterCard, JCB, AMERICAN EXPRESS, Diners Clubなど)</p> <p>手数料 送料・代金引換手数料はWEBサイトでご確認ください。</p>
T2GS電話通販	<p>TEL 03-5680-8850</p> <p>支払い方法 ◆代金引換</p> <p>手数料 送料・代金引換手数料はオペレーターにてご確認ください。</p> <p>※営業時間 祝祭日を除く 月曜日から金曜日 10:00~12:00 13:00~17:00</p>

※詳細は各WEBサイトでご確認ください。 ※都合により支払条件の変更や販売を終了することもございますのでご了承ください。

ろくろ倶楽部Q&A

Q	A
市販の陶芸用の土は使えますか？	作品の形を作ることはできますが、市販の陶芸用の土は専用の窯がないと焼成することができません。“ろくろ倶楽部専用土”を使用してください。
市販のうわぐすりは使えますか？	一般に「釉薬(ゆうやく)」と言われている陶芸用のうわぐすりは、市販の陶芸用の土同様、専用の窯がないと焼成することができません。“ろくろ倶楽部専用うわぐすり”を使用してください。
市販の道具類は使えますか？	陶芸用の道具類にはいろいろな種類のものがあります。ろくろ倶楽部でもご使用いただくことはできますが、刃物を使用した危険な道具もございませので、ご使用の際は十分に注意してください。
回転台の動きが遅くなった。	電池の容量が少なくなっている可能性があります。新しい電池に交換してください。
回転台が回っている最中に、強い力を加えたら止まってしまった。	安全装置が働いて回転台が止まった可能性があります。電源を切って、約10秒ほど待ってから再び電源を入れ直してください。
形作りの途中で失敗してしまった。	焼成する前の土は、練り直すことで再び使うことができます。形作りの途中の場合、土には水分が多く含まれているので、ある程度乾燥させた後練り直し、必要に応じて水を加え、元の土の硬さに戻してください。
乾燥中、あるいは焼成後の作品にヒビが入ってしまった。	「下べ」をヒビに塗りこんで再度乾燥→焼成を行います。焼成後の修復の場合、塗りこんだ「下べ」が乾燥した後、130度のオーブンレンジで20～30分焼成します。※状況によって時間は異なります。※ヒビは消えますが、その部分の色が周りの色と変わったり、もろくなる可能性があります。
乾燥中、あるいは焼成後の作品が割れてしまった。	完全に割れてしまった場合の修復は難しいので、乾燥中に割れてしまった場合には、水を加えて練り直し、はじめからやり直してください。焼成後の土は再利用することができません。
削りすぎて穴が開いてしまった。	穴をあまった土で埋め、乾燥→削りを行います。
電子レンジ、オーブントースターで焼成できますか？	できません。必ず、温度・時間調節のできるオーブンレンジをご使用ください。その際、スチーム機能やメニュー機能などは使用せず、必ず手動で設定してください。
焼成中においが出る。	土を焼いているので、多少のおいが出る場合があります。品質上問題はありませんが、焼成中は必ず換気を行いましょう。
“ろくろ倶楽部専用うわぐすり”を塗ったのに、水がしみて壊れてしまった。	塗り残しがあったと思われます。少しの塗り残しでも、そこから器全体に水がしみてしまうので、壊れやすくなります。うわぐすりは必ず2～3回重ね塗りをしましょう。
“ろくろ倶楽部専用うわぐすり”がはがれてしまった。	はがれてしまった部分を覆うように、再度重ね塗りをしてください。
水が漏れる。	うわぐすりがきれいに塗られていない場合、水漏れする恐れがあります。塗り残しがないよう、丁寧に塗ってください。水漏れが発生した場合は、乾いた状態で再度うわぐすりを塗ってください。ご使用前には、水を入れて数日間放置し、ご確認の上ご使用ください。

●ろくろ倶楽部コミュニティサイトはこちら！ <http://www.c-player.com/ac55444/message>

ユーザーの作品公開や情報交換ができるようになっていきます。※都合によりサイトが終了する場合がございます。ご了承ください。

株式会社 タカラトミー

タカラトミーでは、「子供たちに安全で楽しいおもちゃと夢を」を第一に考えられています。そのため、常に製品に直し研究、改良を行っており、お買い上げ時期によって同一製品の中にも多少異なるものや、パッケージの写真やイラストなどと異なる場合がございますがご了承ください。製品につきましては、万全の注意を払って製品に当たっておりませんが、万一ご気付きの点がございましたら下記までご連絡ください。

株式会社タカラトミー お客様相談室 ろくろ倶楽部担当

〒124-8511東京都葛飾区立石7-9-10 TEL03-5650-1031

〒532-0003大阪府大阪市淀川区豊洲4-3-7 TEL06-6395-1031

●電話受付時間 月～金曜日(祝日・祭日を除く) 10～17時 おが修理費のいようご承知ください

●たのしいタカラトミーの情報はインターネットで<http://www.takaratomyco.jp>